

## お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域話題をお届けしています。  
広報広聴課 ☎55-2700へご連絡ください。

### 市長への手紙から

## 防災ラジオを配付してほしい

市では市長への手紙を設け、市政についてご提言やご意見をいただいています。今回は今泉にお住まいの稲葉さんから、防災ラジオについてお手紙をいただきましたので、ご紹介します。



稲葉 まさし さん  
(今泉7)

### 【市長への手紙】から

先日、新聞で熱海市が防災ラジオを有償で配付しているという記事を読みました。防災ラジオは、同報無線の放送とラジオがともに聞くことができる点が良いと思っています。私の家では、同報無線の放送がよく聞こえないので、防災ラジオを活用できればと思います。ぜひ、富士市でも配付していただけないでしょうか。

### 【市長からの回答】

ご意見ありがとうございます。ご意見のように、同報無線の放送が受信できるFM・AMラジオは、東海地震が心配される地域に住む富士市民にとって、とても有効だと考えています。

最近の住宅は、防音性や気密性がよくなり、同報無線の放送が室内で聞き取りにくくなっているようです。防災ラジオを使

えば、ボタン一つで室内にいても同報無線の放送が聞こえるようになります。

また、新潟県中越地震のとき、コミュニティFMがとても役立つたという報告がありました。市でもことしの秋には、コミュニティFMの開局が予定され、災害時の情報伝達手段として期待されています。

市では十月ごろ、市民の皆さんを対象に、このラジオを有償で配付する予定です。

購入方法や時期など詳しくは、六月発行の広報ふじに掲載します。ぜひ、ご確認ください。

問い合わせ  
防災危機管理課

☎五五二二七一一  
☎五一一二〇四〇

月に、  
総合防災訓練を行います

こちらは、広報ふじです



よさこいの祭り『第3回あっぱれ富士』の実行委員長を務める

ひろみ 裕美さん  
(松岡)



四月二十三日・二十四日に、中央公園で『第3回あっぱれ富士』が行われ、県内外からよさこいを踊りにたくさんの方が富士市を訪れます。佐野さんはこの祭りの実行委員長を務め、富士市によさこいの楽しさや魅力を広めようと活動しています。

よさこいの発祥は高知県ですが、しかし今ではさまざまな地域で、その街の昔ながらの民謡や伝統芸能などを取り入れ、踊られています。

佐野さんとよさこいの出会いは仙台にいた大学四年生のとき。当時、学生が中心となって町お



「あっぱれかぐや」のメンバーとしてよさこいを踊る佐野さん(右)

こしをした話題に興味を持ち、自分でも何かできないかと、仲間と一緒によさこいチームをつくり、よさこいの祭りを実施しました。その祭りは、今では東北を代表するよさこいの祭りとなり、全国各地から多くの人が参加しているそうです。

五年前、富士市でも同じことができないかと「あっぱれかぐや」という、市内初のよさこいチームを設立。その後、各地区の祭りへの出演や、中学の授業でよさこいを教える講師をするなどの活動をしてきました。今では、市内に十組のよさこいチームがあり、活気づいています。佐野さんは「富士市でも、各地区の特色を生かしたよさこいが踊られるようになってきて、とてもうれしく思います。目標は『あっぱれ富士』を全国から人が集まるような祭りにするこ